

# ウレタン塗膜防水年代記

	年代	業界の動向	官公庁・建築学会の動向	公的仕様・規格等の標準化動向	世相
れい 明 期	1965年前後	●「ネオブレソ/ハイバロン」などクロロレン系が使用された。エマルション系としてはアクリルスチレン、アクリル酢酸ビニル共重合が、反応硬化形樹脂としてはエポキシ樹脂が用いられた。その他、高濃度ゴムアスファルトエマルション防水の研究と実用化が進められた			●ケネディ大統領暗殺 ●メキシコオリンピック開催
	1969	●日本ウレタン防水協会（以下、協会）発足		●JASS 8 防水工事業発表（日本建築学会）	●人類、月面に立つ
	●フレタノ防水材の船渠、材質、および施工上の問題点が指摘されることが多かった	●ウレタン防水普及のための講習会開催（協会） ●協会標準仕様書刊行			●万国博、大阪で開催 ●よどぎ事件発生 ●ミュンヘンオリンピック開催
普 及 期	1970				
	1971	●PR用リーフレット「ウレタン防水の案内」刊行（協会） ●フレタノ防水材の品質と施工をテーマに懇談会開催（協会）			●沖縄返還交渉成立 ●ドルの急落で円切り上げ、308円
	1972	●「建築用ウレタン塗膜防水工事業標準仕様書」刊行、関東、関西で説明会開催（協会）	●労働省職業訓練法施行規則の改正により「防水施工科」が追加指定	●JASS 8 防水工事業（第1版）発行（日本建築学会）	●元日本兵衛井住一氏、グアム島ジャングルで発見 ●ミュンヘンオリンピック開催 ●日中国交回復
	1973	●上記仕様書「解説」刊行（協会）			●石油ショック、トイレットペーパーなど買い溜め
	1974	●防水技能士検定制度に協力（協会） ●全国防水工事業団体連合会（全防水）設立			●フィリピン・ルパン島で小野田元少尉発見 ●二宮尊徳米大統領辞任
	1975	●屋根防水用塗膜材のJIS原案作成、労働省認定職業訓練教科書「防水施工法」の作成に協力（協会）	●通産省「屋根防水用塗膜材」のJIS化企画		●英エリザベス女王来日 ●沖縄海洋博開催
	1976	●全国塗膜防水工事業団体連合会（塗膜工連）設立		●JIS A 6021 屋根防水用塗膜材公布（通産省）	●毛沢東主席死去 ●田中前首相逮捕 ●モントリオールオリンピック開催 ●カーター氏米大統領に当選
重 要 拡 大 期	1977	●協会事務所を東京都港区新橋に移転 ●防水施工技能検定（アスファルト防水）第1回実施、初の「防水技能士」誕生（労働省）		●JASS 8 防水工事業に塗膜防水の納入が決定（日本建築学会）	●政府、領海12カイリを決定 ●ソ連200カイリ漁業専管水域を決定 ●北海道・珠山大噴火
	1978	●塗り床や舗装材も含め日本ウレタン建材協会（以下建材協会）と改称（協会） ●塗膜防水技能士誕生（労働省） ●JIS A 6021認定商品上市 ●JASS 8 改定、解説文の作成に協力（建材協会）	●建築学会春季大会「建築防水をとりまぐ諸問題」がテーマに		●伊豆大島近海地震発生（M7.0） ●成田空港開港 ●樺村直巳氏、単独で北極点到達 ●宮城沖地震（M7.5） ●日中平和友好条約締結
	1979	●建材協会設立10周年記念行事挙行政		●JASS 8 防水工事業改定原案発表（日本建築学会）	●米中国交正常化 ●イランで米大使館人質事件発生
	1980	●建材協会PR用会章デザイン決定 ●フレタノ建材工事に関する安全指針を作成（建材協会）	●建設業近代化モデル計画で防水工事が対象業種に（建設省）		●大平首相死去 ●モスクワオリンピック開催 ●イラン・イラク戦争勃発 ●米大統領にレーガン氏就任
	1981	●「塗り床施工指針」を作成（建材協会） ●4会連合協定「工事請負契約約款」改正原案決定	●住宅・都市整備公団（前身・日本住宅公団）発足	●JASS 8改定版発行、4節塗膜防水が新制定（日本建築学会） ●建築工事共通仕様書56年版発行（建設省）	●ポートピア81閉幕（神戸） ●スペースシャトル「コロンビア」打上げ成功 ●台湾・進来航空機墜落、向田邦子さんら110人死亡 ●北米2強事変発生

年代	業界の動向	官公庁・建築学会の動向	公的仕様・規格の標準化動向	世相
1982 〔出荷量 23,000トン〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建設省総プロ「建築物の耐久性向上技術の開発」に参画、フレタン塗膜材の「耐久・プロメント性の研究」に関して東工大小池研究室と共同研究（建材協会）</li> <li>●全防連「防水保証基本契約約款」発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建設省総プロ作業本格化</li> <li>●建設防災協会が「外壁タイル剥離の耐震診断とその対策」まとまる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建築工事監理指針56年版発行（建設省）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホテルニュージャパン火災事故で死傷者61人</li> <li>●日航機DC8型、羽田沖で墜落、死者61人</li> <li>●英国とアルゼンチンが本格的軍事衝突</li> <li>●イスラエル軍、レバノン侵攻</li> <li>●長崎県で集中豪雨、死者・不明者329人</li> <li>●ソ連ブレジネフ書記長死去</li> </ul>
1983 〔出荷量 25,700トン〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●改修工事標準仕様WGを設置、作成作業を開始（建材協会）</li> <li>●民間でも防水保証長期化へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建設省建築施工管理技士制度公布</li> <li>●保証制度、住宅・都市整備会社では防水10年外壁7年</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●NHKテレビ「おしん」放送開始</li> <li>●フジテレビ、アキノ氏顔役</li> <li>●大韓航空機墜落事件発生</li> <li>●レーガン米大統領来日</li> <li>●田中元首相有罪判決</li> <li>●パンコンワークプロが急速に普及</li> </ul>
1984 〔出荷量 25,700トン〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●工事施工部門を分離「日本フレタン建材工業会（以下、NUK）」に改称</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●仕上材JIS改正公布（適産省）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●江崎グリコ社長誘拐事件発生</li> <li>●植村直巳氏マッキンリーで消息絶つ</li> <li>●コンクリート中性化（劣化）が社会問題化</li> </ul>
1985 〔出荷量 26,400トン〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NUK「いま、なぜフレタンなのか」発行</li> <li>●建設省総プロ「建築物の耐久性向上技術の開発」成果に協力（NUK）</li> <li>●高住協、マンション保全診断センター設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総プロ成果を反映した改修設計指針まとまる</li> <li>●適産省、集合住宅用新材料開発組合設立</li> <li>●（財）マンション管理センター設立</li> <li>●建研、総プロ成果概要発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建設省建築工事共通仕様書60年版発行（建設省）</li> <li>●JASS 8 改定原案発表（日本建築学会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●つくば万国博始まる</li> <li>●NTT、JT発足</li> <li>●男女雇用均等法成立</li> <li>●豊田商事・永野会長惨殺</li> <li>●日航ジャンボ機墜落520人死に</li> <li>●メキシコ大地震発生</li> <li>●阪神21年ぶり優勝</li> </ul>
1986 〔出荷量 27,900トン〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NUK、JASS 8 改定作業に参画</li> <li>●日本建築センターが作成する「屋根防火研究委員会報告」のとりまとめに協力（NUK）</li> <li>●「下地処理材の評価試験方法」に関する研究を実施（NUK）</li> <li>●アクリルゴム系塗膜防水技術土壌生</li> <li>●フレタン塗膜防水工事部別標準工法発行（NUK）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本建築学会、JASS 8普及講習会全国で開催、改定JASS 8に下張り硬質工法が採用</li> <li>●集合住宅防水も長期保証へ（財）住宅登録機構）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施工監理指針60年版発行（建設省）</li> <li>●建築改修設計指針発行（建設省）</li> <li>●保全工事共通仕様書61年版発行（住宅・都市整備会社）</li> <li>●JASS 8 改定版発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スペースシャトル爆発</li> <li>●マルコス政権崩壊</li> <li>●チェルノブイリ原発大事故発生</li> <li>●チャールズ皇太子、ダイアナ妃と来日</li> <li>●土井社会党委員長退任</li> <li>●三原山大噴火、大島島民避難</li> <li>●円高続き1ドル150円台に</li> </ul>
1987 〔出荷量 26,363トン〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NUK、官民連帯共同研究「外装材維持補修工法の開発」で「フレタン塗膜防水による屋根の補修、改修指針の開発」をテーマに研究開始</li> <li>●全連連調査、技能工、資材不足全国的に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適産省工技院外壁塗膜防水材JIS化作業着手</li> <li>●官民共同「外装改修技術開発推進委員会」発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリートひびわれ対策指針改正（コンクリート工学協会）</li> <li>●総プロ普及用技術指針発行（建設省）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NTT株上場</li> <li>●三井物産若王子支店解放</li> <li>●国鉄分割、民営化</li> <li>●石原裕次郎さん死去</li> <li>●利根川博士、ノーベル医学生理学賞受賞</li> <li>●大韓航空機行方不明「真由美」韓国へ移送</li> <li>●韓国大統領に盧泰愚氏当選</li> </ul>
1988 〔出荷量 27,680トン〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JIS A 6021改定作業、外壁用塗膜防水材の新JIS作成に参画（NUK）</li> <li>●日本建築学会「合成高分子系床仕上げ施工指針」作成に協力（NUK）</li> <li>●NUK事務所を東京都港区芝浦に移転</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適産省工技院外壁塗膜防水材JIS化作業着手</li> <li>●官民共同「外装改修技術開発推進委員会」発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリートひびわれ対策指針改正（コンクリート工学協会）</li> <li>●総プロ普及用技術指針発行（建設省）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高知学芸高校生、中国上海市で列車衝突事故に見舞われる</li> <li>●JR建線海線開通</li> <li>●瀬戸大橋開通</li> <li>●ソウルオリンピック開催</li> </ul>
1989 〔出荷量 29,225トン〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NUK20周年記念式典挙行</li> <li>●公正取引委員会に団体成立届出（NUK）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●JIS A 6021改定「屋根用塗膜防水材」公布</li> <li>●建築工事共通仕様書平成元年版発行（塗膜防水の仕様が充実）（建設省）</li> <li>●住宅・都市整備会社保全工事共通仕様書（平成元年版）にフレタン塗膜防水が採用（住宅・都市整備会社）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●天皇陛下御崩御元日は平成に決定</li> <li>●消費税（3%）導入</li> </ul>

年代	業界の動向	官公庁・建築学会の動向	公的仕様・規格類の標準化動向	世相
1990 〔出荷量 33,562トン〕	●群馬県建築士会で講習会開催(NJK) ●神奈川県・千葉県建築士会に協会加入(NJK) ●建設省橋原工事検査官講師に講演会開催(NJK)	●建設省官民連携共同研究企画「外装仕上げおよび防水の補修・改修技術」発刊 ●文部省・厚生省・防衛施設庁でフレタラ防水仕様を採用	●建築改修工事共通仕様書作成に着手 ●JASS 8 改定検討に入る	●建設業界は好況で推移 ●ドイツ連邦共和国が誕生 ●イラク軍クートに侵入
1991 〔出荷量 32,338トン〕	●千葉県建築士会で講習会開催(NJK) ●「フレタラ塗膜防水施工マニュアル」発刊(NJK) ●神奈川県建築士会で講習会開催(NJK) ●郵政省建設部で説明会開催(NJK、2回)	●産業廃棄物関連問題が重視 ●通産省でヒヤリング、団体懇談会 ●住宅・都市整備公団「超硬硬化フレタラメーカー」を推薦	●JASS 8 防水工事(案) ●建設省改修仕様書作成(防水・床)	●平成景気が賑わいが始める ●高幹競争勃発 ●愚仙・普賢岳大規模火砕流発生 ●ソ連共産党解体、主権国家連合へ
1992 〔出荷量 33,963トン〕	●JASS 8 性能評価試験法への参画(NJK) ●非破壊厚み測定法の検討(NJK)	●官公庁建築物修繕措置判定手法WG参加	●建設省建築工事施工監理指針改定作業に ●建設省建築改修工事共通仕様書(平成4年版)発刊 ●住宅・都市整備公団、保全工事共通仕様書(平成4年版)発刊	●パルセロナ五輪開催 ●クリントン米大統領誕生 ●国内経済パブル崩壊、不況に突入
1993 〔出荷量 31,109トン〕	●日本建築学会大会にNJK論文発表参加 ●PR誌「21世紀へ飛翔」発刊(NJK) ●製鉄安全データシート案作成(NJK) ●安全・産業WG発足(NJK)	●給排水、防水材料屋外暴露10年調査検討 ●建築学会防水ビデオ作成協力 ●東工大に塗り床滑り試験委託	●建設省建築工事共通仕様書(平成5年版)及び同建築工事施工監理指針の発刊 ●JASS 8 改訂版発刊	●宮内閣退陣、細川内閣誕生 55年体制の崩壊 ●パブル崩壊と記録的な長雨冷害により不況が続く ●皇太子殿下、雅子妃結婚の儀
1994 〔出荷量 32,996トン〕	●神奈川県・千葉県建築士会を退会(NJK) ●産業廃棄物処理調査結果の報告(NJK) ●パンフレット「安全指針」発行(NJK) ●PL法対策を検討(NJK)	●日本建築学会防水材料性能評価試験法の追加試験に参加 ●日本建築士会上学会に調査依頼(地下水管理の調査) ●ハートビル法制定	●建設保全業務共通仕様書改訂(建築保全センター)	●細川内閣退陣、羽田内閣誕生 ●羽田内閣退陣、村山内閣誕生 ●平成不況は予想外に長引く
1995 〔出荷量 33,811トン〕	●日本建材産業協会加入(NJK) ●PL法対策ガイドライン作成 ●MSDS(安全データシート)の集約整備(NJK) ●「塗り床ハンドブック」発刊	●阪神・淡路大震災屋上防水被害状況調査に協力(NJK) ●PL法(製造物責任法)施行 ●「耐震改修促進法」施行	●JS A 6021改訂 ●外壁用塗膜防水材TR審議(工技協) ●建設省建築工事共通仕様書(平成5年版)の見直し	●阪神淡路大震災発生 ●サリン事件発生による社会不安 ●不良債権拡大等による金融不安 ●危機として経済不況が続く
1996 〔出荷量 35,898トン〕	●ISO 9000の検討 ●「フレタラ塗膜防水施工マニュアル」改訂版の審議(NJK) ●産業廃棄物対策の推進(NJK)	●通産省KISSの推進 ●阪神・淡路大震災から一年、公開シンポジウム開催 ●郵政省建設部が閉設部と名称変更 ●建設省・郵政省がVE導入検討開始 ●「外壁用塗膜防水材」TR A 0001(標準情報)制定	●建設省建築工事共通仕様書(平成5年版)、同監理指針の見直し作業 ●建設省建築改修工事共通仕様書(平成4年版)の見直し作業開始	●住専問題、金融不安発生 ●村山内閣退陣、橋本内閣誕生 ●クリントン米大統領再選 ●アトランタ五輪開催 ●官公庁汚職の波及拡大
1997 〔出荷量 35,093トン〕	●高耐久硬質フレタラ開発フレタラ防水第5世代 ●フレタラ塗膜防水施工マニュアル改訂版発刊(NJK) ●FRP防水工法小委員会設置(全防協)		●建設省建築工事共通仕様書改訂版でフレタラ塗布量を硬化物比重に改めて表現	●長野新幹線・秋田新幹線開業 ●東海村核燃料再処理工場(勸修寺)で爆発事故 ●中国に香港返還 ●消費税率5%に引き上げ
1998 〔出荷量 37,490トン〕	●防水施工法FRP防水工法編発刊(全防協)		●建設省建築工事共通仕様書改訂版でフレタラ塗布量を硬化物比重に改めて表現	●長野冬季オリンピック開催 ●仏でワールドカップ開催、日本初出場

年代	業界の動向	官公庁・建築学会の動向	公的仕様・規格等の標準化動向	世相
1999 〔出荷量 38,130トン〕	●NLK30周年記念式典挙行	●住宅・都市整備公団が改組、都市基盤整備公団発足		●世界人口60億人突破
2000 〔出荷量 39,163トン〕	●ルーフィング・イン・アメリカ発刊(全防協)	●TRA0001とJIS A 6021が統合され、建築用塗膜防水材としてJISに外壁用塗膜防水材が定められる ●FRP防水工事施工指針(案)・同解説発刊(日本建築学会)	●JIS A 6021改正、名称が建築用塗膜防水材に変更、壁紙用と外壁用 ●建築工事標準仕様書・同解説JASS 8防水工事に防水設計上参考となる仕様としてFRP系塗膜防水工法を記載(日本建築学会) ●住宅品質確保促進法(品確法)施行 ●建築基準法改正(仕様規定から性能規定化へ)	●コンピューター西暦2000年問題(Y2K) ●白川英樹、ノーベル化学賞受賞 ●三宅昌徳火(全島避難) ●国勢調査(人口1億2692万5843人)
2001 〔出荷量 38,742トン〕	●環境問題に関する説明資料発表(FRP防水環境問題対策委員会)	●FRP防水技能士誕生(厚生労働省) ●建設省が国土交通省に組織・名称変更	●建築工事監理指針(平成9年版)にJIS A 6021が外壁用も含めた改正によって、アクリルゴム系塗膜防水材が外壁用塗膜防水として規定された旨記載	●野依良治、ノーベル化学賞受賞 ●米で同時多発テロ(世界貿易センタービル崩壊) ●小泉内閣誕生
2002 〔出荷量 36,795トン〕	●環境対応型フレタン防水材システム認定制度発足(NLK) ●フレタン防水環境宣言運用指針採択(NLK) ●防水施工法・改訂版・FRP防水工法編発刊(全防協)	●「建築博物館」設置(日本建築学会)	●建築改修工事監理指針(平成14年版)にJIS A 6021がJASS 8防水工事の中で外壁に対する防水仕様の一つとして示されている旨が記載	●住民基本台帳ネットワーク通称「住基ネット」スタート ●東京電力の柏崎、福島第一、第二の3原発のトラブル隠し発覚 ●ワールドカップ日本・韓国合同開催 ●小柴昌俊、田中耕一、ノーベル物理学賞受賞
2003 〔出荷量 35,580トン〕	●「建築防水の施工管理」「建築一般と防水施工管理」発行、第一回「防水施工管理技術者」認定試験実施(全防協)		●ホルムアルデヒド規制が盛り込まれた改定建築基準法の施行	●新型肺炎(SARS)が世界的流行、死者700人以上
2004 〔出荷量 40,562トン〕	●環境対応型フレタン防水材システム認定取得7社12システム(NLK) ●水硬化フレタン普及協議会設立	●能力開発支援制度開始(日本建築学会)	●各省庁の仕様統一、公共建築工事標準仕様書改訂	●六本木ヒルズオープン ●九州新幹線開業 ●新潟県中越地震、死者40人 ●スマトラ沖地震・津波、死者20万人以上
2005 〔出荷量 40,959トン〕	●ホルムアルデヒド自主規制認定制度発足(NLK) ●防水100年記念事業(全防協)	●国土交通省アスベスト対策推進本部設置	●公共工事の品質確保の促進に関する法律施行 ●都市再生機構環境対応型工事仕様	●中朝国際空港セントレア開港 ●愛・地球博(愛知万博)開催
2006 〔出荷量 37,093トン〕	●環境対応型フレタン防水材システム認定取得10社16システム(NLK) ●ホルムアルデヒド自主規制認定取得10社144システム(NLK) ●JWWA日本防水材料連合会発足	●アスベストの対応について指針講評(国交省) ●創立120周年(日本建築学会)		●「会社法」施行 ●安住内閣誕生
2007 〔出荷量 36,603トン〕	●環境対応型フレタン防水材システム認定取得9社18システム(NLK) ●ホルムアルデヒド自主認定取得17社283(NLK) ●フレタン塗膜防水施工マニュアル改訂(3版)		●公共建築工事標準仕様書(平成19年度版)、建築工事管理指針(平成19年度版)、公共建築改修工事標準仕様書(平成19年度版)、建築改修工事管理指針(平成19年度版)改訂 ●新GS表示制定	●福田内閣誕生 ●食品偽造問題

	年代	業界の動向	官公庁・建築学会の動向	公的仕様・規格等の標準化動向	世相
用途拡大・充実期	2008 〔出荷量 40,914トン〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境対応型フレタン防水材システム認定取得9社19システム(NUK)</li> <li>●ホルムアルデヒド自主認定取得23社424(NUK)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JASS8防水工事・同解説改定(日本建築学会)</li> <li>●都市再生機構保全工事共通仕様書平成20年版発刊</li> </ul>	●新JS認定制度に変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>●麻生内閣誕生</li> <li>●リーマンブラザーズ倒産、世界的金融問題発生</li> </ul>
	2009	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NLK40周年記念式典挙行</li> <li>●環境対応型フレタン防水材システム認定取得10社20システム(NUK)</li> <li>●ホルムアルデヒド自主認定取得26社497(NUK)(9月現在)</li> <li>●日本防水材料連合会(JWMA)事務所を日本橋久松町に移転、参加工業会も同事務所に移転。NLK、ARK、KPKが移転。</li> </ul>	●住宅瑕疵担保履行法施行(国土交通省)		<ul style="list-style-type: none"> <li>●鳩山内閣誕生</li> <li>●新型インフルエンザ世界的流行</li> </ul>

## 日本ウレタン建材工業会歴代会長

2009年(平成21年)11月1日

代	在任年度	会長名	代	在任年度	会長名
1	昭和44年(1969年)	高橋重道(日本ポリウレタン(株))	11	昭和59年(1984年)	増淵義一(保土谷建材工業(株))
2	昭和45年(1970年)	手島幸雄(保土谷化学工業(株))	12	昭和60年(1985年)	江口愛吉(ディックブルーフィング(株))
	昭和46年(1971年)	手島幸雄(保土谷化学工業(株))		昭和61年(1986年)	江口愛吉(ディックブルーフィング(株))
3	昭和47年(1972年)	俵木 滋(日本ライヒホールド(株))		昭和62年(1987年)	江口愛吉(ディックブルーフィング(株))
4	昭和48年(1973年)	緒方俊夫(三井東圧化学(株))		昭和63年(1988年)	江口愛吉(ディックブルーフィング(株))
5	昭和49年(1974年)	秋田一雄(武田薬品工業(株))		平成元年(1989年)	江口愛吉(ディックブルーフィング(株))
6	昭和50年(1975年)	大家康司(日本ソフラン化工(株))	13	平成4年(1992年)	西川捷一(三井東圧化学(株))
7	昭和51年(1976年)	柴田和夫(三洋化成工業(株))	14	平成5年(1993年)	大津山巖茂(三井東圧化学(株))
8	昭和52年(1977年)	久板 勉(第一工業製薬(株))	15	平成6年(1994年)	大津山巖茂(三井東圧化学(株))
	昭和53年(1978年)	久板 勉(第一工業製薬(株))		平成7年(1995年)	三浦慶政((株)ダイフレックス)
9	昭和54年(1979年)	箕輪 敏(三井日曹ウレタン(株))		平成8年(1996年)	三浦慶政((株)ダイフレックス)
	昭和55年(1980年)	箕輪 敏(三井日曹ウレタン(株))		平成9年(1997年)	三浦慶政((株)ダイフレックス)
10	昭和56年(1981年)	平野 功(保土谷建材工業(株))		平成10年(1998年)	三浦慶政((株)ダイフレックス)
	昭和57年(1982年)	平野 功(保土谷建材工業(株))		平成11年(1999年)	三浦慶政((株)ダイフレックス)
	昭和58年(1983年)	平野 功(保土谷建材工業(株))		平成12年(2000年)	三浦慶政((株)ダイフレックス)
	昭和59年(1984年)	増淵義一(保土谷建材工業(株))		平成13年(2001年)	三浦慶政((株)ダイフレックス)
	昭和60年(1985年)	江口愛吉(ディックブルーフィング(株))		平成14年(2002年)	三浦慶政((株)ダイフレックス)
	昭和61年(1986年)	江口愛吉(ディックブルーフィング(株))		平成15年(2003年)	三浦慶政((株)ダイフレックス)
	昭和62年(1987年)	江口愛吉(ディックブルーフィング(株))	17	平成16年(2004年)	角田孝郎(旭硝子ポリウレタン建材(株))
	昭和63年(1988年)	江口愛吉(ディックブルーフィング(株))		平成17年(2005年)	角田孝郎(旭硝子ポリウレタン建材(株))
	平成元年(1989年)	江口愛吉(ディックブルーフィング(株))		平成18年(2006年)	角田孝郎(旭硝子ポリウレタン建材(株))
			18	平成19年(2007年)	芳賀敏行(AGCポリマー建材(株))
				平成20年(2008年)	芳賀敏行(AGCポリマー建材(株))
				平成21年(2009年)	芳賀敏行(AGCポリマー建材(株))